

第21回

# 北海道胃瘻研究会



令和6年

11/9 土

13:00~17:15

会場 札幌医科大学 臨床教育研究棟 1F  
札幌市中央区南1条西16丁目  
地下鉄東西線 西18丁目駅5・6番出口から徒歩3分

## || 特別講演1 (共催セミナー)

司会 東札幌病院 日下部 俊朗

胃瘻造設を伴う進行期パーキンソン病治療

さっぽろ神経内科病院 院長 川島 淳 先生

共催 アツヴィ合同会社

## || 特別講演2 (共催セミナー)

司会 札幌西円山病院 藤本 篤士

『経口摂取に向けた取り組み  
～口から食べるプロジェクトと、その考え方』

熊本桜十字病院 呼吸器内科 安田 広樹 先生

共催 株式会社 大塚製薬工場、イーエヌ大塚製薬株式会社

## 第21回

# 北海道胃瘻研究会

日時 令和6年11月9日(土) 13:00~17:15 (12:30受付開始)

場所 札幌医科大学 臨床教育研究棟 1F

参加費 医師 3,000 円 医師以外 1,000 円

事前参加申し込みは不要ですので直接会場にお越しください。

地下鉄東西線  
西18丁目駅 5・6番出口

最新の情報は  
<https://h-peg.jp/>  
で案内中!!



## プログラム

開会の辞 13:00~13:05

北海道胃瘻研究会代表世話人  
くら内科内視鏡クリニック 倉 敏郎

一般演題 13:05~13:55

座長 札幌しらかば台病院 菊地 剛史

1. 当院におけるとろみ水作成方法の統一に向けた取り組み

札幌しらかば台病院 佐々木恵里子

2. ~特定行為看護師が安全に胃ろうカテーテル交換を行うために~

清水赤十字病院 後藤靖興

3. イディアルボタンZERO®を用いた胃瘻の運用

NHO旭川医療センター 横浜 史郎

4. 「今があるのは胃瘻のおかげです」-胃瘻を造って11年、  
今も経口摂取している患者の記録-

宮の森記念病院 真崎 茂法

5. イディアルボタンZEROの有用性と課題~自験例を含めて~

くら内科内視鏡クリニック 倉 敏郎

特別講演1 (共催セミナー) 13:55~14:45

司会 東札幌病院 日下部 俊朗

胃瘻造設を伴う進行期パーキンソン病治療

さっぽろ神経内科病院 院長 川島 淳 先生

(共催:アッヴィ合同会社)

企業プレゼンテーション 14:45~15:05

休憩 15:05~15:20

企業展示をご覧ください

ワークショップ 15:20~16:10

テーマ「食べるための胃瘻を多職種で考えよう!」

司会 くら内科内視鏡クリニック 倉 敏郎  
札幌西円山病院 藤本 篤士

●医師の視点

胃ろうから経口栄養への移行の目安や注意点

熊本桜十字病院 呼吸器内科 安田 広樹

●リハの視点

リハのポイント,基本的進め方

麻生脳神経外科病院 言語聴覚士 源間 隆雄

●看護の視点

看護の役割と多職種との連携方法

麻生脳神経外科病院 看護師 秋森 亜紀

●薬剤の視点

患者にやさしい薬の選択

札幌しらかば台病院 薬剤師 小日向 真澄

●栄養の視点

嚥下調整食と特性,進め方

札幌西円山病院 管理栄養士 阿部沙耶香

特別講演2 (共催セミナー) 16:10~17:10

司会 札幌西円山病院 藤本 篤士

『経口摂取に向けた取り組み

~口から食べるプロジェクトと、その考え方』

熊本桜十字病院 呼吸器内科 安田 広樹 先生

(共催:株式会社 大塚製薬工場、イーエヌ大塚製薬株式会社)

閉会の辞 17:10~17:15

第21回北海道胃瘻研究会会長

札幌西円山病院 藤本 篤士

第22回北海道胃瘻研究会会長

札幌しらかば台病院 見田 裕章

主催 北海道胃瘻研究会

後援 北海道医師会、札幌市医師会、北海道看護協会、北海道栄養士会、北海道在宅ケア事業団、北海道消化器内視鏡技師会

\*本講演会は日本臨床栄養代謝学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士認定講座(2単位)として開催致します。